全国木材資源リサイクル協会連合会
令和６年度第２回 調査及び広報活動推進委員会議事録

開催日時　　令和７年３月２６日（水）１０時００分～１１時００分

※リモート会議　（全国木材資源リサイクル協会連合会事務所）

出席者

〇委　員

全国木材資源リサイクル協会連合会	原　信男（委員長）
住友林業フォレストサービス㈱	矢 吹　賢 二
㈱グーン	古敷谷 裕 二
㈱タケエイ	梅 村　真二郎
㈱エコグリーン	田 中　元 浩

〇地域委員

北日本協会事務局	高 橋　秀 孝　㈱クリーンシステム
関東協会事務局	岩 瀬　耕 二
東海協会事務局	丸 山　純 平　フルハシEPO㈱
近畿協会事務局	田 渕　茂 雄　木材開発㈱
中四国協会事務局	牧 野　忠 司（末長氏代理）
九州協会事務局	河 野　秀 彦　中山リサイクル産業㈱

欠席者

JFEｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ㈱	中 島　貴 浩
ホクザイ運輸㈱	芦 塚　雄 介
住友大阪セメント㈱	田 中　圭 太
中四国協会事務局	末 長　明 美　㈱環境プラント

（事務局）

全国木材資源リサイクル協会連合会	小川　真帆子
関東協会事務局	渡辺　靖子

（会議概要）

１．委員長挨拶

年度末のお忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございます。

２．議事要旨

（１）令和６年度事業報告の確認

事業の成果の主要な事項について、令和６年度は、物流業界の2024年問題や能登半島地震の復興支援への取組などを進めた。

定款の事業に関しては、次の通りである。

1の普及啓発事業は、ホームページに、FIT・FIP制度におけるライフサイクルGHG基準の導入に伴う実施要領等の改訂版のアップ、木材リサイクルマップの改定を進めた。また、講習会に参加し、情報を得た。

２のイベント、講演等の開催事業は、総会において講演会を実施したほか、緊急に安全衛生講習会を実施した。また、GHG基準の導入に伴う説明会を実施した。

３の調査・研究事業は、リモートによる委員会の開催、国への要望、木質バイオマス需給調査など各種調査の活用、FIT制度への対応等に取り組んだ。また、木質資源安定供給検討会では、パネルディスカッション形式で国からは今後の施策ついて、ユーザーからは業界の方向性について多角的な報告があった。

４の情報提供事業は、国や自治体との調整を進めた。

５の援助に関する事業は、地域協会との連携を図った。また、会員のご協力で多額の寄付をいただいている。さらに、能登半島地震等の公費解体による災害木くずの処理の準備と受け入れを進めた。

とくに、質問がなく、理事会に議案として上程することとした。

（２）令和７年度事業計画についての意見交換

事業計画の概要について、令和７年度は、カーボンニュートラルに向けた様々な取組び対応するほか、次年度の廃棄物処理法の見直しを見据えた取組を進める。また、能登半島地震の復興支援の取組のための条件を整えていく。

（活動方針及び事業計画）

１．活動方針及び事業計画については例年通りである。

２．普及啓発事業はホームページの活用など。イベント、講演等の開催事業は効果あるイベントへの出展など。調査・研究事業は国への要望、各種調査の活用、先進地域視察、FIT・FIP制度のライフサイクルGHG基準導入への対応、木質資源安定供給検討会の取組など。情報提供事業は例年通り。指導・援助事業は各地域協会との連携や寄付への取組など。新たに、災害救援に関する事業を設け、能登半島地震の復興支援への取組を進める。

とくに質問がなく、理事会に議案として上程することとした。

（３）生産会員実態調査の調査項目の検討

次年度の調査項目は、変更なしでよいと考えている。追加の質問項目があればお聞かせ願いたい。特になければ、令和６年度と同様とするとの説明があった。

以上の説明に関連して、「生木の種類を細かく把握していないため、想定でしか回答できない。現状のままでいいか」との問題提起があったが、想定での回答で問題ないとした。

（４）木質バイオマス需要調査の調査項目の検討および送付先の確認

設問意図を正確に伝えるため、「木質チップを利用している」を「木質チップだけを利用している」に、「リサイクル材」を「建設廃木材（リサイクル材）」に修正した。

また、回答率を上げるために、過去４年間回答なしの事業所、新規送付先候補リストを参考に、関わりのある事業所や連絡可能な担当者がいる場合、来週末を目途に教えていただきたいとの要請があった。なお、回答なしの事業所については、可能性のない事業所は対象から外すことも考えている。

（５）能登半島地震の災害被災木の処理について

（６）エコプロ2024報告

（７）国への要望項目の確認

令和７年度要望項目について、令和６年度の要望及び国の回答を参考に事務局における考え方を説明したが、4月末を目途に必要と考えられる要望について意見をいただきたいとの要請があった。それらを踏まえ、検討していく。

事務局の説明に関連して、委員から次のような報告があった。

令和7年度に、リサイクルポート推進協議会の災害廃棄物部会で、今回の能登半島地震をきっかけに港の利活用がスムーズになるようワーキンググループで検討する予定である。

（８）その他

FIT・FIP制度におけるライフサイクルGHGに関する改正に関して、3月14日に開催された（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会の勉強会の情報を提供した。

以上で閉会とする。　（了）